

安平町公共交通空白解消事業「利用者データ収集・分析等委託業務」
委託プロポーザル仕様書

令和7年6月12日
安平町地域公共交通協議会

安平町公共交通空白解消事業「利用者データ収集・分析等委託業務」
委託プロポーザル仕様書

1. 業務名

安平町公共交通空白解消事業「利用者データ収集・分析等委託業務」

2. 業務の背景及び目的

当町は、新千歳空港に隣接し、JRの複数路線が乗り入れるなど地理的な優位性を有する一方、地域内では、平日夜間や日曜・祝日にハイヤーやデマンドバスなど地域内を移動できる公共交通が乏しく「交通空白」が生じている。そこで、今年度『時間帯空白解消に向けたハイヤー・デマンドバス・ライドシェア一元管理化調査実証事業』を実施し、公共交通体制の充実にに向けた取組を進めることとしている。

そのような中、より有益な交通システムを構築していくためには基礎データとして現状を正確に把握し、それを基に求められる体系を見通していく必要があるため、本業務を実施する。

3. 業務内容

本業務では、地域の実情に合った有効性の高い公共交通体系を構築するため、公共交通利用者、及び交通事業者の双方へヒアリング等の手法による調査を行い、実態を把握する。また、各種調査や実証実験等の結果を総合的に分析し、当町において将来的に持続可能で求められる公共交通のあり方を提案する。

(1)各種ニーズ調査、ヒアリング調査の実施支援

- ・地域住民の利用者ニーズの把握、聞き取りなど [4回以上]
- ・交通事業者等へのヒアリング調査 [1回以上]

民間バス、町循環バス、デマンドバス・ハイヤー事業者などから日常業務における課題や実状を聞き取り、現状を洗い出す

- ・その他、現状利用者のニーズを把握するための調査

(2)利用予測シミュレーション

- ・ニーズ調査の結果分析、及び、調査結果に基づいた動向予測
居住地域・年齢・時間帯・目的等から利用者の移動ニーズを整理する
- ・長期的に求められる交通体系を把握するため、人口変動を加味したシミュレーションを作成する。

(3)基礎データの分析業務

- ・町が行う実証実験の結果に基づく利用者意向や事業の有効性の分析

(4) 求められる交通体系の提案

- ・ 長期的な視点から求められる公共交通ネットワークの提案
ニーズ調査、ヒアリング、実証実験等の結果を総合的に勘案し、今後の安平町において求められる公共交通のあり方を成果品として提案する。

4. 成果品

事業実施に伴う以下の成果物を、紙ベース及び電子データにより納品すること。

- ・ 各種調査の収集データ
- ・ 各種調査結果の分析データ
- ・ 調査、分析に基づいた今後の提案